

玉之浦小中学校だより

灯

(あかり)

号 8
令和2年8月9日

75年前の8月9日、原子爆弾が長崎市に投下されました。：多くの尊い命が奪われ、その後も続く多くの苦しみが生まれた日です。この日を「県民祈りの日」としている長崎県では、日曜日であっても子どもたちは登校し、平和について考える取組を行っています。本校でも1学期後半から、各学年ごとに平和学習を行ってきました。その学びを、みんなで共有する場として、本日「平和集会」を開きました。

8・9 平和集会

あの日を忘れず、感謝しながら今を生きる。

集会の様子は次号に掲載します。平和集会の校長講話では、次のようなことを、子どもたちに話しました。

◇ ◇ ◇
6月23日(火)心を見つめる教育週間に関する話をいくつかしました。そのひとつとして、沖縄県では毎年6月23日を「慰霊の日」と定めて、沖縄の戦場で亡くなった

人を追悼し、平和について考える大切な日にしていくと伝えました。1945年8月9日には、長崎市に原子爆弾が落とされて多くの人々が犠牲になり、その後も長く続く苦しみが生まれました。長崎県は、8月9日を「県民祈りの日」と定め、沖縄県と同じように亡くなられた方の追悼と平和を考える日としています。

太平洋戦争中には、沖縄・長崎・広島だけではなく、日本中の多くの町に大量の爆弾が落とされて、多くの尊い命や人々の生活が奪われました。また、兵隊として外国で亡くなった人もたくさんいました。6月23日(火)の集会では、「幸せになるために誰もが生まれてきたんだよ」「私が生まれてきた訳」という話もしました。私の想像ですが、戦争で命を奪われてしまった人たちは、幸せを感じる余裕も、生まれてきた訳を考える自由もないまま亡くなったのではないのでしょうか。今を生きている私たちは、そのことを忘れてはならないし、自分が生まれてきた訳や、幸せに生きることを考える自由がある今に感謝しなければならぬと思います。

この後、11時2分にサイレンが鳴ります。75年前の8月9日、長崎市に原子爆弾が落とされた時刻です。1分間の黙祷の間に、亡くなられた人たちや、その後も病気や差別などで苦しい時間を過ごしてきた人たちがいたことを考えましょう。生まれてきた訳や、幸せに生きることを考える自由のある今に感謝しましょう。次にサイレンが鳴るのは、8月15日(土)の正午です。この日は日本が戦争に負けたこと、戦争が終わったことを国民に伝えた日です。戦争が終わって75年の長い時間が過ぎました。8月6日や9日、15日に響くサイレンの意味を知らない人たちが増えていくと聞きます。しかし、玉之浦小中学校のみんなには、覚えていてほしい。将来、「このサイレン、何だろう？」という人がいたら、「広島に原爆が落とされた日だよ」「長崎に原爆が落とされた日だよ」「戦争が終わった日だよ」と教えてあげられる人でいてください。そして、これから「私が生まれてきた訳」をいっぱい見つけていってください。

1学期終業式から

1学期を振り返って

8月4日(火)終業式、小・中学生代表の2名の発表内容を紹介します。

◆小2 築脇徠太さん



1学期は、英語、梅の実採り、田植えの3つの行事を、特に頑張りました。夏休みは早起きを目標に過ごします。



た。夏休みは早起きを目標に過ごします。

◆中2 出口呼侑さん

学級委員として、みんなの意見をまとめる難しさなどを感じましたが、同時にやりがいも感じ、充実していました。また、学級としては、言葉遣い、係活動、落ち着いた行動が課題です。2学期は2年生らしく、明るくリーダー性を伸ばしていきたいです。

よしなついで

「私が生まれてきたため」は、さだまさしさんの「いのちの理由」という曲の中で、繰り返されるフレーズです。6月23日(火)の集会で子どもたちに紹介しました。「私が生まれてきた訳を考えよう。いくつあってもいいし、他の人と違ってもいいよ。」と話しました。

恥ずかしながら、私自身の「私が生まれてきた訳」のお話です。自信を持って紹介できるものがあると思えば、「娘たちに命を繋ぐため：」です。たぶん妻も同じだと思います。この学校だよりを読んでいただいている保護者の皆様(お父さん、お母さん)も、同じではないでしょうか？ お子様も、「お父さん、お母さんが生まれてきた訳は何？」と尋ねてきたら、素敵な「私が生まれてきた訳」を話してあげてください。